

## 全員ペケ

この題で、**民主党政権**のことだと思った人は正解です。

ところで、このところたかが歌舞伎の役者が血だらけで帰宅しただけのことを、何がおこったのか、などと芸能記者が飛び回っているらしい。そして犯人は「元暴走族」などとあたかも加害者が一方的に悪いように表現するマスメディア。・・・ところが「人を怒らせる天才」などと次々に旧悪が露見してきて、要するに親のしつけ(躾)ができていなかっただけのこと。こんな程度の人間にしてしまったのは、チヤホヤしてきた周りも悪いが本人の自覚がなかっただけのこと、梨園の御曹司としての扱いしかしてこなかった親やマスメディアの方にも反省するべき点があるのではないか。歴史をみれば、河原乞食と蔑まれながら綿々と繋いできた先人たちの苦労や功績の上に胡坐をかいて、思い上がってきただけの小僧になにがわかる。歴史は古いだけでは何の意味もない。

同じようなことが、外国人横綱の朝青龍のときには、「品位・風格に欠ける」としてみんなで詰め腹切らせたのではないか。役者に人格を云々するな、というなら、もともと品格があったのかね。そんな

のを「伝統芸能」の後継者として国から大金を支給するのはいかなものか。これこそ「事業仕分け」の対象とするべきではないか？ まあ同じ程度の政治屋が事業仕分けをしているから、言っても無駄かもしれない。・・・あいつなら殴られても仕方がないや、よくぞ殴った、と褒める人がでてきてもおかしくない。振られた（騙された）女の子なんか当然よと思っているかも知れない。中には夫人が警察沙汰にしたのを怒る人もいるし、役者の顔を殴る卑怯者という人もいるが、すべては自らが招いた事態である。いっそのこと品位・風格・人望に欠けると引退させたらどうや。・・・数日後自ら「無期限の謹慎」を課します、と殊勝気に記者会見をしていたが、笑止千万。無期限を「終身」にしてもいいくらいである。

本題にはいります。11月中旬、裁判員裁判で極悪非道の殺人者の判決で「死刑」が宣告された。ところがこの判事、何を思ったか余計なことを付け加えた挙句、被告に「控訴」を勧めた。・・・こいつ何考えとんねん、アホか！ 自分の判断に確固たる自信がないのだろうか？ ならば判事を辞めろ！

すでに書いたような気がするが、「裁判官が国を滅ぼす」という本があるが、どう考えても社会的常識からかけ離れたおかしい判決が

連続する。そのため最低限の「社会的常識のある人」を選んでの裁判員制度を作ったのではなかったか？

彼らの判断基準は、法律に照らし合わせて（つまり六法全書に載っているかどうか）該当するか、あるいは最高裁での判例があるかどうかだけで、社会正義などといった高尚な思想などないのである。裁判官に対する国民の信頼が失われつつあることを理解していない。たとえばその法律が100年も前の徳の生えたような法律で、現在の発想ではとても対応できないことがあっても、法律を優先するのである。検察も弁護士も同じようなもので、**検察**に関してはこのところの証拠の捏造などで徐々に明らかになってきた。

とは言ってもわれわれには、これを糾弾する方法がない。唯一衆議院選挙のとき、国民審査というものがある。最高裁判所の判事の名前が列挙された用紙があり、なんらかの意志を示さない、つまりペケ（×）をつけないかぎり、適格と判断されてヤツラが胸撫で下ろす仕組みになっている。……高校のときの教師が「ワタシら腹立つから、みなペケつけたりますねん！」爆笑だったが、今わたしがそれをしています。全員ペケです。

2010.12.08. 開戦記念日に。